

第8回勉強会を開催しました！

開催日時：令和5年3月1日（水） 19:00～20:30

開催場所：鶴の木特別出張所

参加者：17名（傍聴者：5名）

パブリックコメント（結果について共有）

下丸子駅周辺地区まちづくり構想（以下「まちづくり」構想という。）（素案）について、令和5年1月13日から令和5年2月2日まで大田区 Web サイトでパブリックコメントを実施し、結果の概要について共有しました。

レクチャー（他都市の事例について共有）

まちづくり構想の実現に向けた次年度以降の取組について、おおたクリエイティブタウンセンターの野原センター長から、他都市の先進事例等を用いて参加者にレクチャーを行いました。

<レクチャーの様子>



ワークショップ

「まちづくり構想の実現に向けた今後の取組を考えよう！」をテーマに、3つのグループに分かれてワークショップを行いました。ワークショップでは、2つの視点『視点①：まちづくり構想の実現に向けた取組のアイデア』、『視点②：まちづくり構想の実現に向けた取組の体制』をもとに、まちづくり構想の実現のためのアイデアや実施体制等について意見交換を行いました。各グループからいただいた意見の一部をご紹介します。

<Aグループ>

視点①	<ul style="list-style-type: none">大きく3つに分けると、「暮らし」、「ものづくり」、「交通」のアイデアに分類される。「暮らし」は、近隣住民の方々が気軽にコミュニケーションをとれる多世代交流が必要になる。飲食や親水などの施設があるとよい。道路の歩きやすさを高めると、自動車側に負担となる場合がある。バランスを考えて住民が住みやすく、物流が滞らない動線を整備する必要がある。等
視点②	<ul style="list-style-type: none">主体的にまちづくりに関わりたい人が、取組体制のチームづくりを行い、その人たちが活動できる場所があればよい。

<ワークショップの様子>



<Bグループ>

視点①	<ul style="list-style-type: none"> • 遊べるようなデザインの道や公共広場の一般開放が必要である。 • 地下空間には防災拠点としての機能も必要である。 • 下丸子駅周辺地区は都心から近く、多摩川の自然もあり落ち着いた印象があり、その立地を活かすことが必要である。 等
視点②	<ul style="list-style-type: none"> • インフルエンサーなど、まちづくりのキーマンとなり得る人に関わってほしい。 • 防災の専門家に関わってほしい。 • イベントなど、町会、自治会同士で競争し、もっと良いものを作れたらよい。 等

<ワークショップの様子>



<Cグループ>

視点①	<ul style="list-style-type: none"> • 近所の神社で、誰でも自由に持ち出してよい本などを置き、遊び心を出すのもよい。 • 町ピアノや駅ピアノがあると人が集まりやすい。 • 防音設備などが発達したため、町工場は何をしているかが分からないので、町工場からもっと自社の情報を発信していくべきである。 等
視点②	<ul style="list-style-type: none"> • 子育て世代（PTA）や若い世代等にもっと関わってほしい。 • 神社やお寺に関わってほしい。 • まちを実際に使ってくれるプレイヤーが必要である。 等

<ワークショップの様子>



今後の下丸子駅周辺地区のまちづくりについて

下丸子駅周辺地区まちづくり構想の策定に向け、令和3年度より下丸子駅周辺地区のまちの将来を考える会（勉強会）を開催し、地区の関係者と意見交換を行い、令和5年1月に区民公募手続き（パブリックコメント）を実施しました。

その後、パブリックコメントなどでいただいたご意見を踏まえ、令和5年3月に「下丸子駅周辺地区まちづくり構想」を策定しました。まちづくり構想の策定後は、当地区のまちづくりコンセプト実現に向け、より具体的な取組を検討・整理する「（仮称）下丸子駅周辺地区グランドデザイン」の策定を目指します。

策定に向け、これまでの勉強会メンバーのほか、新たにまちづくりに関心がある方々にもお話をお聞きしながら、検討を進めて行く予定です。



【お問い合わせ先】

大田区 鉄道・都市づくり部 鉄道・都市づくり課（担当：雲藤、小原、石川）
TEL：03-5744-1212（直通） FAX：03-5744-1526
E-mail：kaihatsu@city.ota.tokyo.jp

下丸子駅周辺のまちづくり
の詳細は区 HP をご覧下さい
区 HP はこちらから⇒

